

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期日	H30.6.2	会場	栃木県体育館		幕張総合	26	28	37	19		110
審判	(主)手塚清孝	(副)梶崇司	遠藤昭彦		春日部東	19	23	14	20		76

千葉県立幕張総合高等学校(千葉)

コーチ 藤澤 圭佑 A・コーチ 清水 拓実 マネジャー

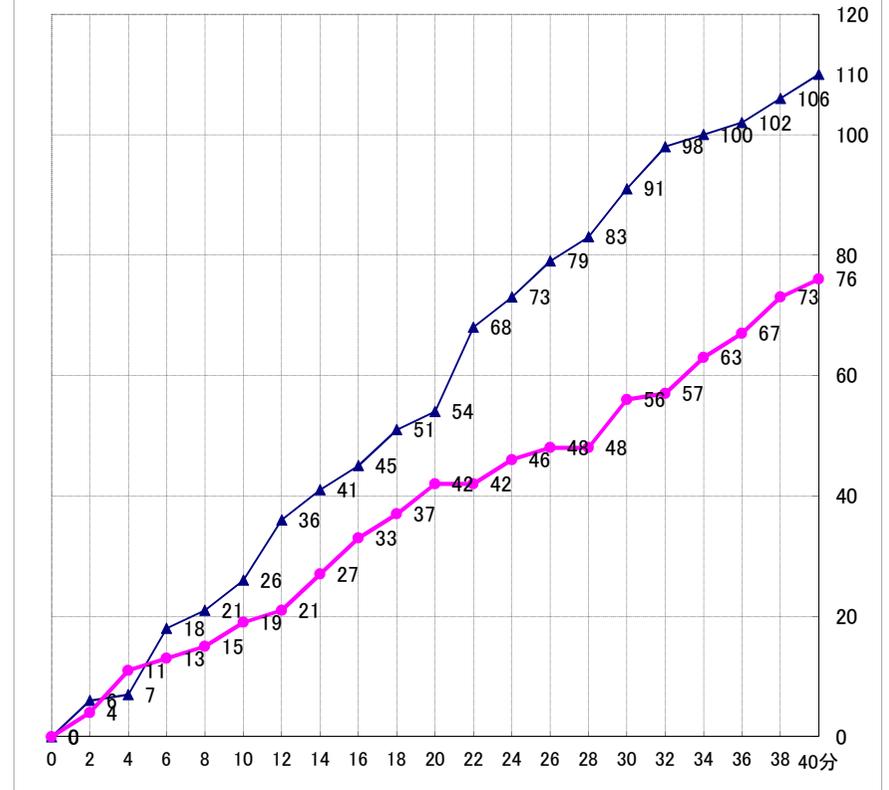
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
濱野 裕稀	4	24	1	9	8	12	5	8	2	3	5	8
古賀 大樹	5	10	0	1	3	7	4	5	0	3	4	7
小川 智貴	6	10	1	3	2	5	3	4	1	4	0	4
戸笈 悠稀	7	17	3	7	3	5	2	4	1	1	5	6
合阪 諒	8	7	2	5	0	1	1	1	1	5	6	11
原井 虎太郎	9	21	0	1	10	13	1	2	3	2	3	5
樋口 凌	10	2	0	0	1	5	0	0	1	0	0	0
清水 真央	11	8	0	0	4	6	0	0	2	0	0	0
葛田 巧己	12	3	1	2	0	0	0	0	0	0	3	3
佐藤 永和	13	2	0	0	1	1	0	0	1	0	2	2
原尾 善匡	14	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	3
藤江 将秀	15	2	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1
鹿取 颯斗	16	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
野口 雄生	17	2	0	2	1	3	0	0	0	1	1	2
大石 空雅	18	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2
チーム合計		110	8	31	35	62	16	24	15	22	34	56
成功率			25.8%		56.5%		66.7%					

埼玉県立春日部東高等学校(埼玉)

コーチ 吉田 久史 A・コーチ 松口 小タ マネジャー 松田 千佳

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
武井 稜大	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
橋本 凌	4	19	1	2	6	23	4	6	1	1	4	5
嶋田 友哉	5	12	0	8	5	11	2	2	1	0	3	3
大倉 涼太	6	2	0	1	1	2	0	0	1	0	1	1
田代 充	7	6	0	2	3	6	0	0	4	1	3	4
岩本 輝	8	4	0	0	2	3	0	0	5	4	3	7
香澤 洗希	9	14	0	1	7	9	0	0	3	3	6	9
齊官 宏樹	10	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
山田 悠太郎	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
大河原 正修	12	4	0	0	2	2	0	0	0	2	2	4
竹内 大寿	13	4	0	0	2	3	0	0	0	2	1	3
佐々木 陽成	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
百木 僚佑	27	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
足立 陸	69	1	0	0	0	2	1	1	0	1	0	1
三橋 悠	97	10	0	2	4	8	2	2	1	3	5	8
チーム合計		76	1	19	32	72	9	11	16	19	28	47
成功率			5.3%		44.4%		81.8%					

得点経過



戦評

1Q開幕試合独特の緊張感の中ゲームがスタート。両チームマンツーマンディフェンス。先制は幕張総合 #8合阪。春日部東も #8岩本のシュートなどで応戦。どちらも一歩も引かない展開。残り時間3分を切り、春日部東の外からのシュートがやや落ちはじめ、そのボールを幕張総合が確実に拾い速攻に繋げ26対19と7点リードした。2Q幕張総合は立ち上がり、更に得点を重ね開始1分でリードを11点に広げる。春日部東はたまたまタイムアウト。流れを変えたい。しかし、幕張総合はスティールなどで更に得点を重ねる。開始3分32秒、幕張総合 #4濱野のドライブがオフェンスファウルとなり、春日部東は一時20点差に開いた得点を詰めに掛かる。幕張総合も応戦するも、後半ミスから失点する場面もあり、前半54対42と12点リードで終えた。3Q幕張総合はインサイドにボールを集め得点を重ね、更には相手のファウルを誘う。春日部東は長身の #97三橋を投入しインサイドを固めたいところだが、開始2分でチームファウル5つと苦しい展開。じわじわりリードを広げられ、後半 #13竹内、#27百木などを投入し踏み留まりたいところだが、91対56と幕張総合が更にリードを広げた。4Q点差を縮めたい春日部東は、積極的にシュートを試みるもゴールに嫌われ得点に結びつかない。逆に幕張総合のファーストブレイクを許しリードが広がり、最終的には110対76と、堅い守りとチャンスを確実に得点に繋げた幕張総合が勝利した。全カブレーの両チームの健闘を讃えたい。